

子ども・子育て支援法に基づく給付・事業とアンケート調査の関連について

子ども・子育て支援給付		アンケート調査の該当箇所
教育保育施設		就学前：問４－１～４－１１ 就学前：問６－１～問６－７
	認定こども園	
	幼稚園	
	保育所	
地域型保育事業		
	小規模保育	
	家庭的保育	
	居宅訪問型保育	
	事業所内保育	

地域子ども・子育て支援事業	アンケート調査の該当箇所
地域子育て支援センター（地域子育て支援拠点事業）	就学前：問５－１～５－４
妊婦検診	就学前：問５－４
新生児訪問・こんにちは赤ちゃん訪問（乳児家庭全戸訪問事業）	就学前：問５－４
養育支援訪問事業	就学前：問５－４
短期入所生活援助事業 ショートステイ（子育て短期支援事業）	就学前：問８－５～８－６ 小学生：問８－１～８－４
ふれあい子育てサポート事業（ファミリーサポートセンター事業）	就学前：問５－４、問８－１～８－４ 小学生：問６－４～６－５
一時預かり	就学前：問８－１～８－４
延長保育事業	就学前：問４－１～４－１１
病児・病後児保育事業	就学前：問７－１～７－７ 小学生：問７－１～７－７
わくわくプラザ（放課後児童育成支援事業）	就学前：問９－１～９－３ 小学生：問５－１～６－３
利用者支援（新規）	（相談等について就学前：問２－５～２－７）
実費徴収に係る補足給付を行う事業（新規）	
多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業（新規）	

（ ）内は国の名称

## アンケート調査の概要

### 1. お子さんと家族の状況（属性）

- ・ 居住区、年齢、家族構成等、基本属性を把握する設問（レポートを参照）

### 2. 子どもの育ちをめぐる環境について

- ・ 問2-1「子育てに日常的にかかわっている方（施設）」については、「父母ともに」が6割弱。年齢別でみると、「幼稚園」については3歳以上で5割程度。「保育所」については0歳で1割弱、1歳以上で3割程度の関わりがある。
- ・ 問2-2「日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人」については、就学前、小学生（問2-1）とともに、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等にみてもらえる」が5割台と多い。「緊急時もしくは用事の際にはみてもらえる友人・知人がいる」については、就学前が2割弱に対し、小学生が4割弱。
- ・ 問2-3「祖父母等の親族にみてもらえる状況」については、就学前、小学生（問2-2）とともに、「安心して子どもをみてもらえる」が7割弱。「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」と「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が2割弱。
- ・ 問2-4「友人・知人にみてもらえる状況」については、就学前、小学生（問2-3）とともに、「安心して子どもをみてもらえる」が6割弱。「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が3割弱。
- ・ 問2-5「気軽に相談できる人や場所」については、就学前、小学生（問2-4）とともに、いる／あるが9割弱。
- ・ 問2-6「相談先」については、就学前では「祖父母等の親族」が最も多く8割半ば。小学生（問2-5）では「友人・知人」が最も多く7割半ば。
- ・ 問2-7「周囲からのサポート」については、「保育所・幼稚園など希望できる事業が利用できる環境」が最も多い6割半ば、次いで「子どもを遊ばせる場や機会の提供」が6割弱。小学生（問2-6）では「子どもを遊ばせる場や機会の提供」が5割半ば。

### 3. 保護者の就労状況について

#### <母親>

- ・ 問3-1（1）「母親の就労状況」については、「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまでに就労したことがない」を合わせると、就学前では5割弱、小学生（問3-1）では4割強。「パート・アルバイト等」については、就学前が1割強、小学生が3割強。就学前に比べて、「フルタイム」の割合は変わらないが、「パート・アルバイト等」の割合について多くなっている。
- ・ 問3-2（1）「母親の日数」については、「5日」が就学前7割半ば、小学生では5割半ばと最も多い。「就労時間」については、「8時間」が就学前では4割弱、小学生では3割弱と最も多い。
- ・ 「家を出る時間」については就学前では「7時」「8時」、小学生では「8時」「9時」が多い。
- ・ 「帰宅時間」については就学前、小学生ともに「18時」「19時」が多い。
- ・ 問3-3（1）「パートタイムからフルタイムへの転換意向」については、「パートタイムで引き続き就労予定」が就学前では6割弱、小学生では8割弱。
- ・ 問3-4（1）「母親の就労希望」については、「下の子どもが〇歳になったころに就労したい」が就

学前では4割強、小学生では3割強。「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が就学前では2割、小学生では4割弱。

#### <父親>

- ・ 問3-1(2)「父親の就労状況」については、就学前、小学生ともに、「フルタイム」がいずれも9割台。
- ・ 問3-2(2)「父親の日数」については、「5日」が就学前、小学生ともに7割程度と最も多い。「就労時間」については、「10時間」が就学前、小学生ともに3割程度と最も多い。
- ・ 「家を出る時間」については就学前、小学生ともに「7時」「8時」が多い。
- ・ 「帰宅時間」については就学前、小学生ともに「19時」～「22時以降」に集中している。
- ・ 問3-3(2)「パートタイムからフルタイムへの転換意向」については、「フルタイムへ転換する希望があり、実現できる見込みがある」就学前では2割弱、小学生では3割弱。
- ・ 問3-4(2)「父親の就労希望」については、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が就学前では2割弱、小学生では3割。

#### <就学前のみ>

### 4. 日中の定期的な教育・保育の事業等の利用状況について

#### ■利用状況

- ・ 問4-1「定期的な教育・保育の事業等の利用状況」については、5割強が利用している。年齢別で見ると0歳が「利用していない」が8割弱、1・2歳では「利用している」4割程度、3・4・5歳では「利用している」が9割程度。
- ・ 問4-2利用している事業は、「幼稚園」が4割弱、「認可保育所」が4割台半ば、「川崎市が認定した認可外保育施設」が1割弱。年齢別の利用事業で見ると0～2歳児では「認可保育所」の利用が多く、3～5歳では「幼稚園」の利用が多い(0～2歳児において「幼稚園」の年齢対象外であるが、若干の利用が上がっている)。「川崎市が認定した認可外保育施設」についても0～2歳で1割半ばの利用がある。
- ・ 問4-3利用日数は、「5日」が最も多い。
- ・ 事業別の日数で見ると、「幼稚園」、「認可保育所」、「川崎市が認定した認可外保育施設」で「5日」の利用が多い。
- ・ 事業別の開始時間でみると、「幼稚園」では「8:01～9:00」(「幼稚園の預かり保育」は「13:30～15:00」)の辺りに件数が集中しており、「認可保育所」、「川崎市が認定した認可外保育施設」では「7:01～9:00」の辺りに件数が集中している。
- ・ 事業別の終了時間でみると、「幼稚園」では「13:31～16:00」(「幼稚園の預かり保育」は「16:30～18:00」)の辺りに件数が集中しており、「認可保育所」、「川崎市が認定した認可外保育施設」では「16:31～19:00」の辺りに件数が集中している。
- ・ 問4-4「教育・保育の事業の実施場所」については、8割強が「住んでいる区内」である。
- ・ 問4-5「実施場所を選んだ理由」は、「自宅から近いから」が5割弱と最も多く、次いで「利便性と教育・保育の質がよいから」が2割弱であった。
- ・ 問4-6「利用している理由」については、「子どもの教育や発達のため」「子育てをしている方が現

在就労している」がいずれも5割半ば。

- ・ 問4-7「利用していない理由」については、「親がみているので利用する必要がない」と「子どもがまだ小さいため」がともに4割弱。

#### ■利用希望について

- ・ 問4-8「今後の利用希望」については、「認可保育所」が4割、「幼稚園」が3割半ば、「幼稚園の預かり保育」が2割弱、「認定子ども園」が1割半ば。年齢別でみると0～2歳で「認可保育所」、「幼稚園」、「認定子ども園」の利用希望が多くなっている。また、「幼稚園の預かり保育」については0～5歳までの年齢において2割前後の希望がある。
- ・ 問4-9希望日数は、「5日」が最も多い。
- ・ 事業別の日数でみると、「認可保育所」、「幼稚園」、「認定こども園」、「幼稚園の預かり保育」で「5日」の希望が多い。
- ・ 事業別の開始時間でみると、「幼稚園」では「7:31～9:00」（「幼稚園の預かり保育」は「13:30～15:00」）の辺りに件数が集中しており、「認可保育所」、「認定こども園」では「6:31～9:00」の辺りに件数が集中している。実際の利用状況に比べて、希望の開始時間が早まっている。
- ・ 事業別の終了時間でみると、「幼稚園」では「13:31～15:00」（「幼稚園の預かり保育」は「16:31～18:00」）の辺りに件数が集中しており、「認可保育所」、「認定こども園」では「16:31～20:00」の辺りに件数が集中している。実際の利用状況に比べて、希望の終了時間が遅くなっている。
- ・ 問4-10「利用したい実施場所」については、「住んでいる区内」が9割強。
- ・ 問4-11「実施場所を選んだ理由」は、「自宅から近いから」が7割半ば。

#### <就学前のみ>

#### 5. 地域子育て支援センター等の地域の子育て支援事業の利用状況について

- ・ 問5-1「地域子育て支援センター」の利用状況については、「利用している」が2割台半ば。
- ・ 問5-2「今後の利用希望」については、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいと思わない」が6割弱。
- ・ 問5-3「利用していない理由」については「保育所や幼稚園を定期的に利用している」が4割強。「施設の利用方法がわからない」「特に利用する必要性を感じない」が2割弱。

#### ■問5-4：その他（1～17）事業の認知度、利用状況、利用意向、満足度

- ・ 「A. 知っているもの」と「B. 利用したことがあるもの」割合が高い事業は、いずれも「妊婦健診費用助成」、「かわさきし子育てガイドブック」「新生児訪問」であった。
- ・ 「C. 今後利用したいもの」については、「かわさきし子育てガイドブック」「妊婦健診費用助成」「かわさきし子育て応援ナビ」であった。
- ・ 「利用したことがある方の満足度」については、「満足」「やや満足」を合わせると、「妊婦健診費用助成」が最も多く、次いで、「産前・産後ヘルパー」、「かわさきし子育てガイドブック」、「地域子育て自主グループへの支援」の順であった。

## <就学前のみ>

### 6. 土曜・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育の事業等の利用について

- ・ 問6-1 (1)「土曜日の教育・保育事業」については、「ほぼ毎週利用している」「月に1～2回は利用している」をあわせても、1割にも満たない。年齢別でみると0歳児の土曜日の利用については、他の年齢に比べて若干少ない。
- ・ 問6-1 (2)「日曜日・祝日の教育・保育事業」については、「ほぼ毎週利用している」「月に1～2回は利用している」をあわせても、11件。
- ・ 問6-2「利用している理由」については、「月に数回仕事が入るため」が8割半ば。
- ・ 問6-3 (1)「利用希望」としては、「土曜日の教育・保育事業」の利用を希望する人は、「ほぼ毎週利用したい」が1割弱、「月に1～2回は利用したい」が2割強。
- ・ 問6-3 (2)「日曜日・祝日の教育・保育事業」の利用を希望する人は、「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回は利用したい」をあわせて1割半ば。
- ・ 問6-4「利用したい理由」については、「月に数回仕事が入るため」が6割弱。
- ・ 問6-5 幼稚園利用者で「夏休みなどの教育・保育事業」の利用状況は、「利用している」が1割。利用している事業は「幼稚園の預かり保育」が7割強。「利用している曜日」はいずれも平日であり、土曜日の利用者はない。「利用している事業」は「幼稚園の預かり保育」が7割強。
- ・ 問6-6「夏休みなどの教育・保育事業」の利用希望は、「利用したい」が3割強。「利用したいと思わない」が3割半ば。「利用したい曜日」はいずれも平日であり、「土曜日」の希望は2割弱。
- ・ 問6-7「利用したい理由」は、「長期休業期間中も就労により休めないため」が6割。「子ども同士が遊ぶ機会がほしいため」が4割弱。

### 7. お子さんの病気の際の対応について

- ・ 問7-1「この1年間で、病気等で休んだことがあったか」については、「あった」が就学前では8割半ば、小学生(問7-1)では7割弱。就学前の年齢別でみると、どの年齢でも「あった」が8割～9割。
- ・ 問7-2「病気等で休んだ際の対処方法」としては、「就労している母親が休んで見た」が就学前では6割強、小学生(問7-2)では4割強。「就労している父親が休んで見た」が就学前では3割弱、小学生では1割弱。
- ・ 問7-3「病児・病後児のための保育施設等」の利用については、就学前で「利用したいと思った」が4割半ば。病児・病後児のための施設等があれば、小学生(問7-3)で「利用したいと思う」が3割弱。
- ・ 問7-4「事業形態」としては、「小児科に併設した施設で子どもを見る事業」が就学前、小学生(問7-4)ともに8割弱、「保育所等に併設・隣接した施設で子どもを保育する事業」が就学前では7割半ば、小学生で4割強。
- ・ 問7-5「利用したいと思わなかった理由」については、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が5割弱、「病児・病後児は父母が見るべきと思う」が4割弱。
- ・ 問7-6「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったか」については、就学前で4割弱、小学生で3割半ば。
- ・ 問7-7「休んで看ることは難しい」理由としては、就学前、小学生ともに「仕事が忙しくて休めない

い」が最も多い。

## 8. 不定期の教育・保育の事業等や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

### ■不定期の教育・保育の事業等

#### <就学前>

- ・ 問8-1 「不定期の教育・保育の事業等」の利用については、「幼稚園の預かり保育」が多く、次いで「認可保育所における一時保育」であった。また「利用していない」が8割強。
- ・ 問8-2 「現在利用していない理由」については、「4日以上定期保育を利用しているから必要ない」「特に利用する必要がない」がいずれも4割弱。
- ・ 問8-3 「不定期の教育・保育の事業等」の利用目的として、「私用・リフレッシュ」が5割半ば、「不定期の就労」が3割弱。
- ・ 問8-4 「望ましい施設類型」としては、「幼稚園の預かり保育」5割半ば、「認可保育所における一時保育」3割強。
- ・ 小学生（問8-1）平日の夜間や休日の一時預かりについては、「親族や知人にもてもらった」2割弱。「なかった」が7割半ば。

### ■宿泊を伴う一時預かり事業

- ・ 問8-5 「宿泊を伴う一時預かり」については、「親族や知人にもてもらった」が就学前では1割強、小学生（問8-3）では1割弱。また、「なかった」が就学前では7割強、小学生では8割半ば。就学前における「短期入所生活援助事業」については5件のみ。
- ・ 問8-6 「親族や知人にもてもらった」際の困難度については、就学前において「非常に困難」「どちらかという困難」を合わせると5割半ば。
- ・ 小学生（問8-4）において、今後の宿泊を伴う一時預かりについて、「利用したい」が2割強。

## 9. 小学校就学後の希望等について（わくわくプラザ等の放課後児童クラブの利用）

#### <就学前>

- ・ 問9-1 「低学年のうちの過ごし方」については、「習い事」が6割弱（2日が最も多い）、次いで「自宅」（2日が最も多い）、「わくわくプラザ」（5日が最も多い）がいずれも5割半ば。
- ・ 問9-2 「高学年のうちの過ごし方」については、「習い事」が7割半ば、次いで、「自宅」6割強。
- ・ 問9-3（1）「月～金曜日の利用希望」について「低学年の間は利用したい」が7割弱。
- ・ 問9-3（2）「土曜日の利用希望」（3）「日曜日・祝日の利用希望」では、「利用希望はない」が7割を超えている。
- ・ 問9-3（4）「夏休みの利用希望」では「低学年の間は利用したい」が6割弱。

#### <小学生>

- ・ 問5-1 「わくわくプラザ」の利用日数については、「1日」が4割強、「5日」が2割強。
- ・ 問5-2（1）「現状、利用している曜日」等については、「月～金曜日」が8割半ば、「夏休み等長期休暇期間中」が5割弱。
- ・ 問5-1（2）「今後の利用したい日」等については、「月～金曜日の利用希望」が7割半ば、「夏休み等長期休暇期間中」が5割強。
- ・ 問5-3 「利用したい学年」については、「3年生まで」が3割強、「6年生まで」が3割弱。

- ・ 問5-4 「わくわくプラザ」を利用している理由については、「安全に放課後を過ごせるから」が7割弱、「就労などで保護者が家庭にいないから」が5割半ば。
- ・ 問5-5 「19時までの時間延長の利用状況」については、「利用している」が1割強、「今後利用したい」が1割強。「利用していない、また、今後の利用予定もない」が8割弱。
- ・ 問5-6 「わくわくプラザに参加しての子どもの変化」については、「友だちが増えた」が4割、「いろいろな遊びを覚えた」4割弱。
- ・ 問5-7 「わくわくプラザを利用しての満足度」については、「満足」「やや満足」をあわせて6割弱。
- ・ 問5-8 「わくわくプラザに今後望むこと」については「活動内容の充実」が5割弱、「児童の安全確保」が4割弱。
- ・ 問6-1 「民間学童保育」の利用者は28件であった。「5日」が7割強。
- ・ 問6-2 「現状、利用している曜日」等については、「月～金曜日」が9割強、「夏休み等長期休暇期間中」が7割弱。
- ・ 問6-3 「利用している理由」については、「預けていると安心だから」9割弱、「独自のサービスを受けられるから」が7割半ば、「利用できる時間が長いから」が5割半ば。
- ・ 問6-4 「ふれあいサポートの利用状況」については、1年間の利用日数が3日が1名、4日が1名。利用時間は3時間が1名。8時間が1名。
- ・ 問6-5 「ふれあい子育てサポートを利用している理由」については、「安全に放課後を過ごせるから」が7割弱、「就労などで保護者が家庭にいないから」が6割半ば。

#### <就学前のみ>

#### 10. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

- ・ 問10-1 「育児休業給付」「保険料免除」については、いずれも知っているが4割弱。
- ・ 問10-2 (1)(2) 「育児休業の取得」については、「取得した」「育児休業中である」をあわせると母親が4割弱、父親が1割にも満たない(69件)。
- ・ 問10-2 (1)(2) 「育児休業を取得していない理由」については、母親が「子育てや家事に専念するため退職した」が4割半ば、「職場に育児休業の制度がなかった」が2割弱。父親が「仕事が忙しかった」4割弱、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」3割弱。
- ・ 問10-3 (1)(2) 「育児休業取得後の職場復帰」については、「職場に復帰した」が母親、父親ともに9割。
- ・ 問10-4 (1)(2) 「復帰したタイミング」については、母親が「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が7割弱、父親が「それ意外だった」が8割弱。
- ・ 問10-5 (1)(2) 「取得期間」は、母親が「7～12ヶ月」が5割弱、父親が「6ヶ月未満」4割弱。
- ・ 問10-7 (1) 「希望より早く復帰した理由」としては、母親が「希望する保育所に入るため」7割弱、父親が「経済的な理由で早く復帰する必要があった」6割強。
- ・ 問10-7 (2) 「希望より遅く復帰した理由」としては、母親が「希望する保育所に入れなかったため」8割弱。
- ・ 問10-8 (1)(2) 「短時間勤務制度については、「短時間勤務制度を利用した」が母親で6割強、

父親で1割にも満たない。

- 問 10-9 (1) (2) 「利用しなかった理由」としては、母親で「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が4割弱、父親で「仕事が忙しかった」が4割半ば。
- 問 10-10 (1) (2) 「1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳まで育児休業を取得したいか」については、「取得したい」が母親で9割弱、父親で3割強。